

燃料油脂新聞

発行所
燃料油脂新聞社
 〒103-0026
 東京都中央区日本橋兜町8-8
 編集局東京03(6667)1031
 販売局東京03(6667)1042
 札幌・仙台・関東・信越・
 支局 東京・静岡・名古屋・大阪
 広島・四国・福岡
 5カ月31,860円(税込)
www.nenryo.co.jp
 ©燃料油脂新聞社2024

春の全国交通
 安全運動特集



きょうの紙面

- 2 東日本総合版
ENEOS、FCVカーシェア提供
- 3 TBA版
おいしい、次世代車対応など後押し
- 4 } 春の全国交通
5 } 安全運動特集
- 6 LPG版
老舗企業、伊藤GTのLPG充填機導入

説パレスチナ問題
 社題原油に波及

(1)

1日の在シリア・イラン大使館へのイスラエルの攻撃後、原油市況は上昇した。WTI先物(期近・終値)は2日に85ドル台、4日には86ドル台をつけ、北海ブレントも90ドル台に乗った。攻撃の1週間前にはWTIは81ドル台で推移していたが、おりのからの需給タイト化予測と相まって騰勢が強まった。

(2)

3月末までのWTI価格は75〜80ドル前半の狭い範囲で行き来し、業界内でも「ロシアが戦争中にしては、原油市場は安定している。高値だが、やむを得ない」といえる範囲だ(「商社系特約店幹

ENEOS 発券店値付けカード

代行手数料引き上げ

10月給油分から

SSも事業者の拡販いぜん脅威

ENEOSは、発券店値付けカードの給油代行手数料を改定する。特約店筋によると、10月1日給油分からガソリンを以て「12円」に現行の10円から2円引き上げる。軽油は5円から1円引き上げ「6円」にする。同カードを取り扱うSS事業者は8割超。燃料油国内需要の減少が進む環境下、小売市場の変化に対応した手数料の見直しを求めてきたが、ようやく引き上げにこぎ着けた。今後は他の元売の動向に関心が集まる。ただSSをもたない事業者による発券店値付けカードの拡販が行われており、いぜんとして販売業界の脅威だ。

ガソリンの給油代行手数料はENEOSの場合、2019年4月の8円(1円引き上げ)から、2021年10月に2円引き上げ10円と2ヶ台に乗せて以来、3年ぶりの引き上げとなる。今回12円まで上げるものの、1990年以降の最大だった1992年7月の13円には届かない。

一方、軽油はガソリンにくらべて据え置かれることが多く、ガソリンが8円から10円に上がった際も横ばいだった。1990年3月に5円から7円に2円引き上げられたが、上げ改定はこの時以来、実に34年ぶりとなる。

ENEOSでは今回の改定について、特約店に「SS運営コストやマーケット環境などの変化を踏まえ、発券店値付けカードの代行手数料を改定することとした」と説明するにとめている。特約店傘下販売店への通知も要請している。

軽油はフリート事業者が独自に代行カードを発行し、相対で手数料をそれぞれの給油店と決めていくといわれる。いわゆる物流の2024年問題で運輸業界が厳しいなかでの改定になった。

LNG
 国内初
 エネクス
 伊藤忠エネ
 州電力、日本
 部力スが出資

ガソリン12円

軽油6円 34年ぶり上昇

エネクス

保線機械にRD導

西武鉄道が運用開

伊藤忠エネクスと西武鉄道は1日から、日
 化炭素)排出
 できる見込

完成した